

# 第1章 策定に当たって

## 1 計画策定の趣旨

2016（平成28）年に全国の出生数が100万人を割り込み、以降3年連続で出生数が過去最低を更新するなど、日本における少子化は歯止めがかからない状況となっています。

その背景は、未婚化・晩婚化の一層の進行、また、核家族化や地域の教育力の低下などによる子どもと子育て家庭を取り巻く環境の変化など、様々な要因が複雑に絡み合い、結果として、経済や社会の根幹を揺るがす恐れがあります。

本県においても、更なる人口減少が見込まれる中、将来にわたって元気な山口県を作っていくためには、少子化の流れを変えることが極めて重要であり、子ども・子育て支援を「未来への投資」と位置付けて、取組を推進する必要があります。

このため、「やまぐち維新プラン」においても、「結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト」を重点項目として掲げ、若い世代が結婚の希望を叶え、安心して子どもを生育できることができるよう、子どもと子育て家庭を支える県づくりを社会全体で積極的に推進していくこととしています。

本プランは、この方針を踏まえ、社会全体で子どもと子育て家庭をやさしく包み、次世代を担う全ての子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを目指す「みんな子育て応援山口県」を推進するための5年間の計画として策定するものです。

## 2 計画の性格・位置付け

この計画は、「子育て文化創造条例」第12条の規定に基づく計画として策定するものです。

併せて、子ども・子育て支援法第62条の規定に基づく「山口県子ども・子育て支援事業支援計画」や次世代育成支援対策推進法第9条の規定に基づく「次世代育成支援行動計画（計画期間10年）」の後期計画として位置付けます。

## 3 計画の期間

この計画の期間は、2020（令和2）年度を初年度とし、2024（令和6）年度を目標年度とする5か年間とします。